

第27回CTサミット参加報告

札幌医科大学附属病院 小倉圭史

外気温 36.0 度(最低 27.0 度)の灼熱の福岡県福岡市、2024 年 7 月 27 日(土)九州大学医学部百年講堂にて第 27 回 CT サミットが開催された。北海道から参加した私はこの暑さに耐えられる免疫は備えられていない。体に巻きつく熱波、湿度辛かった。

当番世話人は、代表世話人である船間芳憲氏(熊本大学)が、実行委員長を白坂崇氏(九州大学病院)が務めた。福岡県での開催は 2018 年から 6 年ぶりとなる。現地での対面開催となったが、参加者は 250 名を超え、会場は熱気に包まれた。

CT サミットは 1997 年 8 月 20 日に辻岡勝美氏(現、藤田医科大学 客員教授および、Chulalongkorn 大学、タイ・バンコク)のもと、第 1 回(名古屋市)が開催され、27 年目を数える研究会である。宮下宗治氏、平野透氏らは世話人として関わられ北海道にとっても造詣が深い。CT 検査に関して基礎的な技術から臨床応用の多岐に渡り、多角的に時代のトレンドを掴む良い研究会であると筆者は思う。さらには、会の構成は堅苦しくなく『CT の夏フェス』的なイベントであることも馴染みやすい。



今回のテーマは、「ONWARD-革新の潮流に乗って」。VUCA 時代、目まぐるしく変化する日々、未来予測が難しい状況の中、自分達はトレンドを柔軟かつ大胆に捉えて、未来へ進む機会にしたい、船間当番世話人は生成 AI が作成した挨拶文を読み上げた。

「基調講演 (DECT の実用展開)」「技術講演 (ワークステーションによる画像解析の現在と未来-実臨床へのさらなる貢献)」「ランチョンセミナー (バイエル薬品(株)、GE ヘルスケア・ジャパン(株)、(株) フィリップス・ジャパン、シーメンスヘルスケア(株))」「特別講演 1 (大腸 CT アップデート-診療放射線技師が大腸がん患者を救う)」「特別講演 2 (Onward Radiology~多職種連携で前進する放射線部門へ~)」「シンポジウム (ONWARD-革新の潮流に乗って)」の構成で行われた。また、ポスター発表および機器展示(9 社)の時間が 3 回程度設けられた。いずれも熱気あるプレゼンであり、テーマを可視化する刺激的な内容であった。

特別講演 1 (大腸 CT アップデート-診療放射線技師が大腸がん患者を救う)、九州大学の鶴丸大介先生の講演では、大腸がん検診の現状について述べられ、大腸がん死を防ぐためには、大腸 CT(CTC)を広めることの重要性、そして、そのキーマンは診療放射線技師であると強調された。非常に熱のこもったプレゼンであり、業務拡大に対する医師の期待を肌で感じた。さらに、CTC に関わる人口を増やしたいと自身のメルマガを紹介するとともに、「困った時は、いつでもどんな質問でもお受けしますよ！」ユーザーフレンドリーな先

生であった。ご興味のある方は、以下のサイトを覗いてみて下さい。情報が満載です。

「CTCメルマガ HP（九州大学放射線科）：<http://www.radiol.med.kyushu-u.ac.jp/medicalcare/ctc/mailmagazine>」



写真：九州大学の鶴丸大介先生

特別講演 2 (Onward Radiology～多職種連携で前進する放射線部門へ～)、熊本大学の尾田 済太郎先生がご講演された。熊本大学での放射線科医師と診療放射線技師の関係性、読影環境の設計、多職種連携の重要性について紹介され、良い臨床・良い研究は良い他職種連携・コミュニケーションから生まれると講演された。非常に羨ましい環境であると嫉妬した。

シンポジウム「ONWARD-革新の潮流に乗って」では、茅野伸吾氏（東北大学病院）が「高精細 CT による手術デザイン」、山崎 暁夫氏（三重大学医学部附属病院）が「PCDCT が与えるインパクト～循環器領域～」、前山しゆき氏/長尾大氏〔エルピクセル（株）〕は「製品としての AI 開発」、そして、大平新吾氏（東京都立大学）は「DECT が切り拓く、新たな放射線治療戦略」などがプレゼンされた。詳細はインナービジョン 10 月号をご覧ください。

CT サミットでは、ポスター発表も名物である。特徴的には、新規研究発表に加え、過去に国内外で発表された演題についても登録可能である。過去に RSNA、ECR、JSRT、JSCT など様々な学会で報告された内容を展示できる慣用的な場である（ただ、著作物については注意を要する）。24 題のポスター展示（国際学会発表済・英文：10 題、国内研究発表済・未発表：12 題）があり、ポスター会場は大変盛況であった。

ポスター発表表彰の結果は、以下の通りです。おめでとうございます。

Magna Cum Laude

ワークステーションのノイズ低減処理を用いた Mix-Add による造影効果の増強
山中良太 氏（岡山赤十字病院）

Cum Laude

CNN による 2 方向位置決め画像を用いた救急患者の体重推定の試み
吉川直輝 氏（大分県立病院）

Certificate of Merit

Development in Free-breathing Coronary CTA for patients with high heart rate :
using non-device respiratory gating method
秋山宣行 氏（公立陶生病院）



写真：実行委員長 挨拶風景

来年、2025年の第28回CTサミットは、三好利治（岐阜大学医学部附属病院放射線部）が当番世話人を務める。テーマは、「Be Reborn !! 生まれ変わるCT検査の概念」。2025年8月2日（土）、じゅうろくプラザ（岐阜県岐阜市）にて行われる予定。灼熱の地での「CTの夏フェス」に是非、ご参加ください！！来年の「CTの夏フェス」こんな感じだろうか。



写真：来年の「CTの夏フェス」？

第27回 CT サミット（代表世話人：船間 芳憲（熊本大学大学院 生命科学研究部）

テーマ「ONWARD-革新の潮流に乗って」

開催日：2024年7月27日（土）9:55～18:30

会場：九州大学医学部百年講堂 〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

参加費：2,000円

当番世話人：船間 芳憲（熊本大学大学院 生命科学研究部）

実行委員長：白坂 崇（九州大学病院）

以下の更新講習会受講のための単位が取得

肺がん CT 検診認定機構「肺がん CT 検診認定技師」

日本 X 線 CT 専門技師認定機構「X 線 CT 認定技師」

日本救急撮影技師認定機構「救急撮影認定技師」

日本大腸 CT 専門技師認定機構「大腸 CT 専門技師」

以上